

# SEMANARIO DE S. PAULO

No 701

Redação Rua Monsenhor Claro, 4-85 Caixa Postal, 58 BAURU

[Bi Semanario]

Director Rocco Kowyama

4 de Outubro de 1932

## 破がツウウユ

## サンバウロ市の不安

恐怖 各所にボン～鳴る

三十日は市内各商店街は一晩に戸扉をぶらして営業中止した  
聖州民のニトウクは破れて恐怖が刻々と迫つて来た、銀行商業  
會議所、諸務貿易所、朝日場等のことごとく休業した、此機を利  
用して反政府の暴徒が峰起しはせぬかと、其筋では極度のげん  
意図で群衆は數々暴虐威脅し、物陰に逃げた者も居た  
三十日午後二時カビトントンソロモン街歩行中の一人とも負傷  
され、聖州内市内の電車は午後九時迄し  
三十日午后五時半 伯爵大  
ソロモン街歩行中の一人とも負傷  
され、聖州内市内の電車は午後九時迄し  
三十日午后五時半 伯爵大

三十日は市内各商店街は一晩に戸扉をぶらして営業中止した  
聖州民のニトウクは破れて恐怖が刻々と迫つて来た、銀行商業  
會議所、諸務貿易所、朝日場等のことごとく休業した、此機を利  
用して反政府の暴徒が峰起しはせぬかと、其筋では極度のげん  
意図で群衆は數々暴虐威脅し、物陰に逃げた者も居た  
三十日午後二時カビトントンソロモン街歩行中の一人とも負傷  
され、聖州内市内の電車は午後九時迄し  
三十日午后五時半 伯爵大

三十日は市内各商店街は一晩に戸扉をぶらして営業中止した  
聖州民のニトウクは破れて恐怖が刻々と迫つて来た、銀行商業  
會議所、諸務貿易所、朝日場等のことごとく休業した、此機を利  
用して反政府の暴徒が峰起しはせぬかと、其筋では極度のげん  
意図で群衆は數々暴虐威脅し、物陰に逃げた者も居た  
三十日午後二時カビトントンソロモン街歩行中の一人とも負傷  
され、聖州内市内の電車は午後九時迄し  
三十日午后五時半 伯爵大

三十日は市内各商店街は一晩に戸扉をぶらして営業中止した  
聖州民のニトウクは破れて恐怖が刻々と迫つて来た、銀行商業  
會議所、諸務貿易所、朝日場等のことごとく休業した、此機を利  
用して反政府の暴徒が峰起しはせぬかと、其筋では極度のげん  
意図で群衆は數々暴虐威脅し、物陰に逃げた者も居た  
三十日午後二時カビトントンソロモン街歩行中の一人とも負傷  
され、聖州内市内の電車は午後九時迄し  
三十日午后五時半 伯爵大

## 聖州革命休戦

下相談

# 新報

Caixa, 58  
BAURU

本店支店

六十四年十月二十日

五十五年

西州革命休戦

</



## 徵發自動車の返附

聖州政府軍事機関は徵發せる自動車及貨物自動車、自動自轉車等は近々戦場より引上げ、撤除整備の上自動車倉庫に蓄積して、主へ返附する。其通告は新聞紙上に載表掲載する。

内緒見込なきは評價の金額を支拂ふ

一九三二年十月二日

聖市 ラシントン・ルイス 十八  
オラシオ・ロドリゲス

## 硬派軍人等 戰闘繼續の意志を發表す

聖州警備軍の南部戰隊司令官ラジオ、タボガル大佐、カンピナス方面の司令ラモン・ブヌス中佐等は聯邦軍に對して戰闘意の如く、聖市民の硬派には非常な戰動を與へ期目されつゝと報じられて居る。

聖市騎兵聯隊衛所 大爆發 聯邦はサンパウロ

昨三日午前二時聖市イピラブニア廣場にある聖市警備騎兵聯隊

衛所の消防隊が火薬庫爆破し

大音響で附近聖市民に非常警報を與へた

時局に鑑み聯邦軍はサンパウロ

を占據する事を許さないが、サン

パウロ内にぐん準上要所なる四

ヶ所にぐん隊を配布し占據する

ドーベル、ドーバー、ガニス

モントロイ氏はその爲に輕傷を負ふた、警報は直ちに追撃

した

アグードス監獄へ一台の機関銃を

以て聖市に約五百弾の弾を打ち

込んで逃走した、デレガードの

メス中佐(サンパウロ衛隊を

自誇する)の一部の兵は三日ア

グードス監獄へ一台の機関銃を

運転始める

セントラルは今日よりサンパ

ウロ南より北アバレンシア連

旅客貨物の運送を始めた

酒類販賣時間

酒類販賣時間げん無令と

出した

午後六時以後は酒類は

ん販賣りならぬ

セントラルは一日の運送を始めた

酒類販賣時間げん無令と

出された

酒類販賣時間げん無令と

出された</

